

次世代育成支援東京都行動計画（後期）の概要

計画策定の基本的考え方

子供を産み育てることを望む人達が、安心して子育てできる環境、次代を担う子供達が健やかに成長していく環境を、子供達の視点を大事にしつつ整備していくことは、社会全体で連携して取り組んでいくべき課題である。

行動計画の基本事項

➤ 策定趣旨

次代を担う子供達が健やかに生まれかつ育成される社会の形成を目指す。

➤ 対象事業等

- ・ 229事業（前期計画事業 160事業）
うち、30事業で目標数値を設定（前期計画 35事業）
- ・ 「保育計画」及び「ひとり親自立支援計画」を内包

➤ 計画期間

- ・ 平成22年度～平成26年度の5年間

➤ 後期計画の特徴

- ① 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現
- ② 保育サービス及び子育て支援サービスに関するすべての家庭を対象とした包括的取組
- ③ 社会的養護体制の質・量の充実に向けた取組

計画の進行管理等

➤ 事業の進捗状況の報告・公表

- ・ 毎年度1回、個別事業の進捗状況調査を行う。
- ・ その結果を学識経験者等で構成する「次世代育成支援行動計画懇談会」に報告し、意見を求める。
- ・ 併せて、ホームページ等で公表する。

➤ 計画の評価・検証

- ・ 「行動計画策定指針」により、個別事業の評価に加え、個別事業を束ねた施策レベル及び計画全体についての評価を実施することが求められている。

3つの理念 ～計画の目指すもの～

- ① すべての子供達が個性や創造力を伸ばし、次代の後継者として自立する環境を整える。
- ② 安心して子供を産み育て、子育ての喜びを実感できる社会を実現する。
- ③ 社会全体で、子供と子育て家庭を支援する。

5つの視点 ～留意すべき視点～

- ① 「すべての子育て家庭」への支援の視点
- ② 家庭を「一体的」に捉える視点
- ③ 大都市東京のニーズと特性を踏まえた視点
- ④ 利用者本位のサービスの視点
- ⑤ 子供の立場からの視点

5つの目標 ～取組の方向性～

目標1 地域で安心して子育てができる新たな仕組みづくり

- ① 子育て家庭を地域で支える仕組みとサービスの充実
- ② 安心できる小児・母子医療体制の整備

目標2 仕事と家庭生活との両立の実現

- ① 家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進
- ② 都市型保育サービスの充実

目標3 次代を担う子供達がたくましく成長し自立する基盤づくり

- ① 子供の生きる力をはぐくむ環境の整備
- ② 次代を担う人づくりの推進

目標4 特別な支援を必要とする子供や家庭の自立を促進する基盤づくり

- ① 児童虐待防止対策の推進
- ② 社会的養護を必要とする子供への取組
- ③ ひとり親家庭の自立支援
- ④ 障害児施策の充実

目標5 子供の安全と安心を確保し、子育てを支援する環境づくり

- ① 子供を犯罪等の被害から守るための活動の推進
- ② 子供の安全を確保するための取組の推進
- ③ 良質な住宅と居住環境の確保
- ④ 安心して外出できる環境の整備